

委員会紹介

身体拘束・虐待防止委員会

身体拘束・虐待防止委員会は7名で活動を行っています。職員から発せられる日常の些細な言葉や行動に、入所者様へ行動の制限をしているものはないか、不適切な言葉遣いはしていないだろうかなど身体拘束・高齢者虐待に繋がる恐れのある「芽」を摘むための発信や事例検討を行っています。毎月の委員会で各部署から自分達の関わり方や支援の方針が間違っていないだろうか、また他部署で行われている対応の中で気になったことなどを当委員会に投げかけがあり、それについて第三者的な視点からの検討を行っています。これらはすべて、入所者様やデイケア・ショートステイの利用者様の人権を守る事を目的とし、先述しました「芽」を摘むための取り組みです。また「芽」摘むためには職員の抱えるストレスについての把握も欠かせないこともあり、委員会では職員のストレス確認も同時に行っています。今後も身体拘束・高齢者虐待を絶対に許さない姿勢で活動を行い人権の大切さを発信し続けていきます。

もち米・魚贈呈



愛南地区防犯協会様よりもち米を、愛南漁協魚類養殖協議会様よりお魚をいただきました。毎年ありがとうございます。おいしくいただきました。



作品作り

来年の干支であるトラをリハビリ室で作りました。どのトラも可愛くできました。

各フロアでも個人や集団での作業作りを行っています。作品ができましたら誌面でお伝えできたらいいと思います。



いも掘り



ほしたら掘りますよ



ふかし芋にさせていただきました

この立派なお芋を...

蒸し器にこうです。すると...

作り方



完成です

おいしかったよ

子供の頃、祖母がストーブで焼いた芋をおやつに食べさせてくれたのを思い出します



そのままでは食べづらい方にはペースト状にして、召し上がっていただきました。

